



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月1日

上場取引所 東

上場会社名 日新製糖株式会社  
コード番号 2117 URL <http://www.nissin-sugar.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 洋一  
問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 布施 浩志

TEL 03-3668-1293

四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	12,597	△0.7	598	△32.8	904	△9.1	647	△7.9
29年3月期第1四半期	12,683	△2.9	890	4.1	995	13.2	703	25.9

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 816百万円 (32.9%) 29年3月期第1四半期 614百万円 (10.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	29.34	—
29年3月期第1四半期	31.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	58,081	50,190	86.4
29年3月期	58,273	50,190	86.1

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 50,190百万円 29年3月期 50,190百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	33.00	—	37.00	70.00
30年3月期	—				
30年3月期(予想)		35.00	—	34.00	69.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	26,000	4.6	1,300	△20.1	1,600	△9.5	1,100	△18.1	49.82
通期	51,000	2.1	2,400	△12.3	2,900	△5.6	2,000	△21.7	90.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期1Q	22,673,883 株	29年3月期	22,673,883 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

30年3月期1Q	593,869 株	29年3月期	593,740 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期1Q	22,080,068 株	29年3月期1Q	22,080,888 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済につきましては、堅調な雇用・所得環境を受けて、個人消費が改善するなど緩やかな回復基調で推移しました。

海外原糖市況につきましては、ニューヨーク市場粗糖先物相場（当限）において1ポンド当たり16.93セントで始まり、同日今期高値となる17.18セントまで上昇しました。その後は、最大の生産国ブラジルにおけるサトウキビ圧搾の順調な進捗と、原油価格下落を背景とした砂糖生産比率の増加、並びにインド・タイ・欧州など主要生産国の生産量の回復から、世界砂糖需給の供給過剰感が高まり、6月下旬に今期安値となる12.53セントまで下落し、13.68セントで当第1四半期を終了しました。

一方、国内精糖市況（日本経済新聞掲載、東京）につきましては、前期末から変わらず上白糖1kg当たり195～196円で当第1四半期を終了しました。

このような状況のもと、主力の砂糖につきましては、家庭内消費の減少傾向により家庭用製品の出荷量は減少したものの、飲料向け需要の増加、当社独自製品である「きび砂糖」や「フロストシュガー」の好調な出荷により全体では前年並みとなりました。その他の甘味料につきましては、5月に上市した家庭用のガラクトオリゴ糖入りシロップ「オリゴの王様」の量販店への導入が進んでいます。その結果、砂糖その他食品事業合計の売上高は11,699百万円（前年同期比0.8%減）となりましたが、国内精製糖メーカーの標準的な輸入糖の調達コストである輸入糖売戻価格は前年同期比1kg当たり約10円上昇しており、原料コストの上昇が販売価格の上昇を上回ったほか、燃料費の上昇や退職給付費用の増加等により、営業利益は528百万円（同31.0%減）となりました。

健康産業事業におきましては、総合フィットネスクラブ「ドゥ・スポーツプラザ」既存店は会員数が順調に推移したほか、4月に女性専用のホットヨガ&コラーゲンスタジオ「BLEDA（ブレダ）」浦和美園店をオープンし、増収に寄与しましたが、新店舗開業費用の発生により、営業利益は減益となりました。冷蔵倉庫・港湾運送事業におきましては、氷等の取扱いが順調であったものの、普通倉庫の稼働率低下により減収減益となりました。その結果、その他の事業合計の売上高は898百万円（前年同期比0.5%増）、営業利益は70百万円（同43.6%減）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は12,597百万円（前年同期比0.7%減）、営業利益は598百万円（同32.8%減）、経常利益は904百万円（同9.1%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は647百万円（同7.9%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は25,442百万円となり、前連結会計年度末に比べ302百万円減少しました。これは主に現金及び預金が1,733百万円減少した一方で、受取手形及び売掛金が217百万円、商品及び製品が827百万円、原材料及び貯蔵品が417百万円それぞれ増加したことによるものです。固定資産は32,639百万円となり、前連結会計年度末に比べ110百万円増加しました。これは主に有形固定資産が163百万円減少した一方で、投資有価証券が271百万円増加したことによるものです。

この結果、資産合計は58,081百万円となり、前連結会計年度末に比べ192百万円減少しました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は5,321百万円となり、前連結会計年度末に比べ123百万円減少しました。これは主に支払手形及び買掛金が292百万円、未払法人税等が153百万円、引当金が146百万円それぞれ減少した一方で、その他流動負債が468百万円増加したことによるものです。固定負債は2,569百万円となり、前連結会計年度末に比べ67百万円減少しました。

この結果、負債合計は7,891百万円となり、前連結会計年度末に比べ191百万円減少しました。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における株主資本は47,035百万円となり、前連結会計年度末に比べ169百万円減少しました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益647百万円および剰余金の配当816百万円によるものです。また、その他の包括利益累計額は3,154百万円となり、前連結会計年度末に比べ168百万円増加しました。これは主にその他有価証券評価差額金が148百万円増加したことによるものです。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は50,190百万円となり、前連結会計年度末に比べ0百万円減少し、自己資本比率は86.4%（前連結会計年度末比0.3ポイント増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期以降のわが国経済は、雇用・所得環境の改善が継続するなど、引き続き緩やかな回復基調で推移するものと思われま

す。当社の砂糖その他食品事業を取り巻く環境につきましては、昨年度来、海外原糖相場が急騰・急落している状況下において、適正販売価格の維持が重要な課題となっております。

一方、期首に見込んでおりました、エネルギーコストの上昇、新製品の開発・調査費用、今福工場(大阪市城東区)のFSSC22000認証拡大のための設備更新に係る費用、ならびに退職給付費用等の経費の増加は、概ね計画通り発生するものと見込んでおります。

また、健康産業事業におきましては、ホットヨガ&コラーゲンスタジオ「BLEDA(ブレダ)」の展開を計画通りすすめてまいります。

以上の主要な要素について見直しを行った結果、平成29年5月12日の「平成29年3月期 決算短信」で公表しました第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,351	11,617
受取手形及び売掛金	4,133	4,351
有価証券	1,600	1,600
商品及び製品	3,678	4,505
仕掛品	589	611
原材料及び貯蔵品	1,928	2,345
その他	464	411
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	25,745	25,442
固定資産		
有形固定資産		
土地	7,860	7,860
その他(純額)	6,136	5,972
有形固定資産合計	13,997	13,833
無形固定資産		
	178	162
投資その他の資産		
投資有価証券	16,582	16,854
退職給付に係る資産	264	284
その他	1,586	1,584
貸倒引当金	△80	△80
投資その他の資産合計	18,353	18,643
固定資産合計	32,528	32,639
資産合計	58,273	58,081

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,191	1,899
短期借入金	1,100	1,100
未払法人税等	372	219
引当金	300	154
その他	1,480	1,949
流動負債合計	5,445	5,321
固定負債		
引当金	267	148
退職給付に係る負債	132	119
その他	2,238	2,301
固定負債合計	2,637	2,569
負債合計	8,082	7,891
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,000	7,000
資本剰余金	12,020	12,020
利益剰余金	28,481	28,312
自己株式	△297	△297
株主資本合計	47,205	47,035
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	784	933
繰延ヘッジ損益	△1	3
土地再評価差額金	2,191	2,191
退職給付に係る調整累計額	11	26
その他の包括利益累計額合計	2,985	3,154
純資産合計	50,190	50,190
負債純資産合計	58,273	58,081

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	12,683	12,597
売上原価	10,045	10,150
売上総利益	2,638	2,447
販売費及び一般管理費	1,747	1,848
営業利益	890	598
営業外収益		
受取利息	2	0
受取配当金	32	221
持分法による投資利益	75	89
その他	4	4
営業外収益合計	115	315
営業外費用		
支払利息	3	4
支払手数料	2	2
その他	4	2
営業外費用合計	10	9
経常利益	995	904
特別損失		
固定資産除却損	4	8
特別損失合計	4	8
税金等調整前四半期純利益	990	896
法人税等	287	248
四半期純利益	703	647
親会社株主に帰属する四半期純利益	703	647



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	703	647
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△88	151
繰延ヘッジ損益	△14	4
退職給付に係る調整額	3	15
持分法適用会社に対する持分相当額	9	△3
その他の包括利益合計	△89	168
四半期包括利益	614	816
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	614	816
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。